

臨床研究情報

○研究課題名

上部消化管内視鏡検査において従来の通常内視鏡検査にNBI併用拡大内視鏡検査を付加することにより生検数を減らせることができるか否かを検討する

○研究代表者

消化器内科医師 内多 訓久

○研究の概要

【目的】

・近年有用性が強調されているNBI併用拡大内視鏡検査を行うことによって、的確に病変の質的診断を行えば、生検数を減らすことが可能となり、そして確診が得られた場合の病理組織学的診断との合致率を評価することにより、拡大内視鏡での確診症例は病理組織生検の代わりになりうるかを検討する。

【方法】

・通常内視鏡検査にあらかじめGIF-Q240ZまたはGIF-H260Zを使用し、通常観察で良悪性の識別目的に生検を施行すべきと判断した病変に対し、生検前に拡大観察を行って内視鏡診断を下し、その後に同病変の生検を行う。

○倫理的配慮について

- ・拡大内視鏡前に書面で同意を得る。
- ・「ヘルシンキ宣言」に則り行う。

○個人情報の取り扱い

- ・連結可能匿名化。患者名の記載は一切しない。